(3) 八戸工業高等専門学校学業成績評価及び学年の 課程修了並びに卒業認定に関する規則

(昭和46年4月1日制定)

(平成28年10月17日最終改正)

第1章 総則

(趣旨)

第1条 八戸工業高等専門学校における試験、学業成績の評価及び学年の課程修了並びに卒業認定については、この規則の定めるところによる。

第2章 試験

(到達度試験)

第2条 到達度試験は、各学期末に1回行う。

第3条 平素の成績で評価できる科目については、到達度試験を行わないことがある。

(追試験)

第4条 病気その他やむを得ない事情により到達度試験を受けなかった者は、直ちに別記様式第1号による追試験願（病気の場合は医師の診断書、事故等の場合はその理由書を添付）を学級担任を経て校長に提出して、その許可を受けなければならない。

2 到達度試験中に不正行為を行った者及び懲戒処分のため到達度試験を受けられなかった者は、当該試験科目の追試験を受けることができない。

(再試験)

第5条 再試験は、当該年度内に実施する特別再試験と進級後に実施する進級後再試験とする。

2 成績判定会議において第5学年の課程修了が認められなかった者は、未修得科目について特別再試験を受けることができる。

3 進級した者で、未修得科目がある者は、その科目について進級後再試験を受けることができる。

4 当該科目の欠課時数が年間総授業時数の3分の1を超えた場合は、その科目は原則として再試験を受けることができない。

5 再試験を希望する者は、別記様式第2号による再試験願を学級担任を経て校長に提出し、その許可を受けなければならない。

第3章 学業成績の評価方法及び単位の認定

(学業成績の評価)

第6条 履修した科目の学業成績の評価は、試験の成績及び平素の学習状況等を総合して100点法で行う。また、自主探究の学業成績の評価は、探究報告書、成果発表及び平素の探究状況等を総合して合否で行う。

- 2 履修した科目の学年成績は、各学期成績を総合して評価する。
- 3 100点法による学業成績を評語で表す必要がある場合は、次の基準による。

評 価	評 語	
100点～ 80点	A	優
79点～ 70点	B	良
69点～ 60点	C	可
59点～ 30点	D	不可
29点以下	F	不可

また、自主探究の学業成績に係る評語は、合がAまたは優、否がDまたは不可とする。

第7条 追試験による成績は、減点しない。

第8条 再試験に合格した場合の評価は、60点に改める。

第9条 正当な理由なくして試験を欠席したと認められる者に対しては、欠席した試験の成績を零点とする。

- 2 懲戒処分のため到達度試験を受けられなかった者の当該科目の試験成績は、零点とする。

(不正行為)

第10条 到達度試験中に不正行為を行った者の当該期間中に行われた全科目の試験の成績は、零点とする。

- 2 到達度試験中に不正行為を行った者は当該年度の特別再試験を受けることができないものとする。

(単位修得の認定)

第11条 履修した科目の出席時数が当該科目の年間総授業時数の3分の2以上で、学年の成績評価が60点以上の場合、単位認定会議を経て、単位を修得したもとして認定する。

- 2 再試験に合格した者については、単位認定会議等を経て、単位を修得したもとして認定する。

(他の教育機関等で履修した科目の単位認定)

第11条の2 学則第13条の2及び第13条の3の規定に基づく、大学、短期大学及び高等専門学校における学修の申請及び認定は、八戸工業高等専門学校に

における他大学等において修得した授業科目の単位認定に関する規則の定めるところによる。また、学則第13条の3の規定に基づく、特別学修並びに課題研究の単位の認定は、別表1-1、別表1-2. のとおりとし、その申請及び認定については、八戸工業高等専門学校特別学修並びに課題研究単位認定細則の定めるところによる。

(他コース開設科目の履修及び修得単位の認定)

第11条の3 本校の他のコースで開設されている授業科目の履修を希望する第4学年及び第5学年の者は、あらかじめ当該科目担当教員並びに学級担任の許可を得た上で、学期開始前に別記様式第3号による「他コース開設科目受講届」を学級担任を経て校長に提出しなければならない。

2 他コースの開設授業科目を履修し単位を修得した者は、別記様式第4号による「他コース開設授業科目修得単位認定願」に科目担当教員の承認印を受け、学級担任を経て校長に提出して、その認定を受けなければならない。

(学業成績の記録及び通知並びに証明)

第12条 学生指導要録に記載する学年成績は評価で記録し、必要がある場合は評語で記録することができる。

2 保護者に送る成績通知表には、評価を記入し、通知する。

3 校外に対して発行する証明書は、必要がある場合は評語で証明することができる。

第4章 学年の課程修了及び卒業認定

(学年の課程修了の認定)

第13条 学年の課程修了は、学則別表に規定する授業科目の修得単位数、特別学修並びに課題研究の単位数及び特別活動並びに自主探究の履修状況等を総合して判定するものとし、成績判定会議を経て校長が認定する。ただし、休学中の者は、判定の対象外とする。

2 前項の認定に当たっては、原則として次の各号の基準に該当していなければならない。

一 第5学年においては、通算修得単位数が167単位以上（そのうち、一般科目については75単位以上、専門科目については82単位以上とする。）であること及び卒業研究が60点以上であること。

二 第1学年から第4学年においては、別表2に定める通算修得単位数以上であること。

三 前号に該当しない者で、履修した発展学習選択科目のうち、合格した科目の単位を合算した単位数が前号の基準を満たした場合は、次学年に進級

させることができるものとし、校長が認定する。

四 前号により進級した者の前学年の課程修了は、進級後、春学期到達度試験後の成績判定会議を経て、校長が認定する。

- 3 前項の通算修得単位数には、第11条の2及び第11条の3の規定に基づいて認定された単位数を含めるが、留年した者が修得した上位学年科目の単位数は、その学年にとどめられている限り含めないものとする。また、自主探究を再履修した場合には、再履修時の成績をもって通算修得単位数を算出するものとする。
- 4 第2項に該当している者であっても、別表3に掲げる科目が60点未満の場合及び当該年度に履修した自主探究が不合格であった場合は、審議の対象とする。
- 5 第2項に該当している者であっても、別表4に掲げる科目（必得科目）の修得単位が同表で定める課程修了要件を満たしていない場合は、第5学年の課程修了を認めない。
- 6 特別再試験を受験した者については、その結果に基づいて、校長が学年の課程修了の認否を判断するものとする。

（留年）

第14条 学年の課程修了を認定されない者は、留年とする。

- 2 学則第15条による原学年にとどめられた者の再履修は、次のとおりとする。
 - 一 留年した者は、当該学年における未修得科目に相当する科目を履修しなければならない。また、当該学年で修得した科目についても再履修できるものとし、いずれの場合についても、履修又は再履修しようとする年度の前年度末日までに別記様式第5号による履修・再履修願を学級担任を経て校長に提出して、その許可を受けなければならない。
 - 二 留年した者は、自主探究を再履修しなければならない。ただし、第5学年において、自主探究と卒業研究の単位を修得して留年した者については、その限りではない。
 - 三 第1学年から第4学年において留年した者は、八戸工業高等専門学校先行履修に関する細則に定めるところにより、所属するコースまたは学科の1年上位の学年で開設されている科目の一部を先行して履修することができる。
- 3 同一学年を成績不良により再度留年になった場合は、在学を認めない。ただし、病気等の理由による場合は、その都度審議する。

（卒業の認定）

第15条 全学年の課程を修了した者の卒業の認定は、卒業判定会議を経て、校

長がこれを行う。

附 則

この規則は、平成28年10月17日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

(編入学)

第16条 校長は、第3学年に編入学した外国人留学生については、当該編入コースの本校第1学年から第2学年までの履修可能単位（発展学習選択科目を除く。）を修得したものとみなす。この場合における自主探究（2単位）の区分は、第1学年を一般、第2学年を専門とする。

2 高等学校から第4学年に編入学した者については、前項に準ずるものとする。ただし、自主探究（2単位）の区分は、第3学年を一般とする。

(雑則)

第17条 この規則の実施について必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、昭和49年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、昭和52年4月1日から施行し、昭和52年度の入学者から適用する。

2 昭和52年度以前の入学者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、昭和56年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成5年3月5日から施行し、平成4年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成6年12月13日から施行し、平成6年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成8年12月17日から施行する。

附 則

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成11年8月25日から施行し、平成11年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成12年1月7日から施行し、平成11年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この規則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行前に履修した授業科目の学業成績の評価については、改正後の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
- 3 この規則の施行前に履修した授業科目の学業成績の評価において、進級した者で不可の科目のある者が当該履修科目を再試験し、合格した場合の評価については、改正後の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成16年5月10日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 平成16年度以前に入学した学生については、第13条第5項の規定は適用しない。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年6月11日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年度以降に入学した学生については、第13条第5項の規定は適用しない。

別記様式（省 略）

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成26年度以前の入学者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成27年7月13日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成28年6月13日から施行する。
- 2 平成28年3月17日に校長決裁により認定した進級は、改正後の規定により実施したものと見なす。

附 則

この規則は、平成29年2月13日から施行する。

附 則

この規則は、平成29年3月22日から施行する。

附 則

この規則は、平成30年4月1日から施行する。ただし、第13条については平成30年2月13日から施行する。

別表 1 - 1 (第11条の2関係) 特別学修

科目	名 称	等 級(又は点数)	認定学年	単位
一	実 用 英 語 技 能 検 定	準2級	1～5学年	1
		2級		2
		準1級		4
		1級		6
	漢 字 能 力 検 定	2級		1
		準1級		2
		1級		3
	工 業 英 語 検 定	4級	1～3学年	1
		3級		2
		準2級		3
		2級		4
	数 学 検 定	1級		6
		2級		1
		準1級	1～5学年	2
		1級		4
	400点以上 470点未満	1		
470点以上 600点未満	2			
T O E I C	600点以上 730点未満		4	
	730点以上		6	
	3級		1	
	2級		2	
知 的 財 産 管 理 技 能 士	3級		1	
	2級		2	
	N3		1	
日 本 語 能 力 試 験 *注1	N2	外国人留學生のみ	2	
	N1		4	
専	技 術 士 1 次 試 験		1～5学年	4
	ラ ジ オ 音 響 技 能 検 定	3級	1～3学年	1
		2級		2
		1級	1～5学年	4
	情 報 シ ス テ ム 試 験 プ ロ グ ラ マ 認 定	2級	1～3学年	1
	情 報 シ ス テ ム 試 験 シ ス テ ム エ ン ジ ニ ア 認 定	1級	1～5学年	2
	デ ィ ジ タ ル 技 術 検 定 *注2	3級	1～3学年	1
		2級		2
		1級		4
	C A D 利 用 技 術 者 試 験	2級		1
		1級		2
	3 次 元 C A D 利 用 技 術 者 試 験	2級		1
		準1級		2
		1級		3
	機 械 設 計 技 術 者	3級		2
	I T パ ス ポ ー ト			1
基 本 情 報 技 術 者			2	
応 用 情 報 技 術 者		1～5学年	4	
ボ イ ラ ー 技 士	2級		1	
公 害 防 止 管 理 者	大気/水質-2種・4種		1	
	大気/水質-1種・3種		2	
	騒音・振動・粉じん	1		
	主任管理者	4		
工 事 担 任 者	DD 第2種		1	
	AI 第2種		1	
	DD 第1種		2	
	AI 第1種		3	
	AI・DD 総合種		4	

科目	名 称	等 級(又は点数)	認定学年	単位
専 門	電 気 主 任 技 術 者	3種	1～5学年	2
		2種		4
	電 気 工 事 士	2種		1
		1種		2
	危 険 物 取 扱 者	乙種(第4類)		1
		乙種(第4類以外のいずれかの類)		1
		甲種		3
	環 境 計 量 士	(濃度関係)		2
		丙種化学(特別)		1
	高 圧 ガ ス 製 造 保 安 責 任 者	乙種化学		2
		乙種機械		2
		熱関係		2
	エ ネ ル ギ ー 管 理 士	電気関係		2
		測 量 士 補		1
測 量 士		2		
宅 地 建 物 取 引 責 任 者		2		
消 防 設 備 士	乙種(いずれかの類)	1		
2級土木施工管理技術検定試験	学科試験のみ	1		
2級建築施工管理技術検定試験	学科試験のみ	1		
土 木 技 術 検 定 試 験		1		

注：下位の資格を取得後に上位の資格を取得した場合は、上位の資格の単位数から下位の資格の単位数を減じた単位数を当該年度の単位数とする。

注1：日本語能力試験については、対象を外国人留学生に限るものとする。

注2：デジタル技術検定は「制御」と「情報」の2部門に分かれているが、いずれかを取得した場合に上表に定める単位を認定するものとし、上表の単位は等級の最大単位数とする。

別表1-2（第11条の2関係）課題研究

科目	名 称	認 定 条 件	認定学年	単位
一 般 高	特 別 企 画 学 習 I	30時間以上	1～5学年	1
	特 別 企 画 学 習 II	30時間以上		1
専 門	校 外 実 習	30時間以上60時間未満	4・5年	1
		60時間以上	4・5年	2

注：校外実習の単位の認定は最大2単位までとする。平成24年度以前に修得した特別企画学習の単位数は、特別企画学習Ⅰ・Ⅱと合わせて最大2単位とする。

別表2（第13条関係）第1学年から第4学年における学年の課程修了認定に必要な通算修得単位数（第3学年における右の欄は、学年の課程修了認定に必要な一般科目の通算修得単位数である。）

学 科 名	入学年度	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
産業システム工学科	平成30年度 以降入学者					
機械システムデザインコース		30	64	103	70	139
電気情報工学コース		30	64	101	70	137
マテリアル・バイオ工学コース		30	65	101	70	136
環境都市・建築デザインコース		30	64	102	70	138
産業システム工学科	平成29年度 入 学 者					
機械システムデザインコース		28	60	97	65	133
電気情報工学コース		28	60	95	65	131
マテリアル・バイオ工学コース		28	61	95	65	130
環境都市・建築デザインコース		27	59	95	65	131
産業システム工学科	平成28年度 入 学 者					
機械システムデザインコース		28	61	97	65	133
電気情報工学コース		28	61	95	65	131
マテリアル・バイオ工学コース		28	62	95	65	130
環境都市・建築デザインコース		27	60	96	65	132
産業システム工学科	平成27年度 入 学 者					
機械システムデザインコース		29	61	98	65	133
電気情報工学コース		29	61	97	65	132
マテリアル・バイオ工学コース		29	62	97	65	130
環境都市・建築デザインコース		28	60	97	65	132
機 械 工 学 科	平成24年度 }	30	63	99	66	133
電 気 情 報 工 学 科		30	63	99	66	132
物 質 工 学 科	平成26年度 入 学 者	30	63	99	66	133
建 設 環 境 工 学 科		30	63	99	66	133

別表3（第13条関係）学業成績評価が60点未満の場合は、審議の対象となる授業科目である。

（平成30年度以降入学者）

全コース共通	集中数理解習Ⅰ～Ⅲ，集中英語演習Ⅰ～Ⅲ
機械システム デザインコース	機械設計製図Ⅰ～Ⅲ，創造設計製図，3次元設計製図，工作実習Ⅰ～Ⅱ，創造工作実習，産業システム工学セミナー，機械・エネルギーシステム履修コース実験Ⅰ～Ⅱ，知能機械システム履修コース実験Ⅰ～Ⅱ
電気情報工学コース	創成実験，実験実習Ⅰ～Ⅲ，電気電子システム実験Ⅰ～Ⅱ，知能情報システム実験Ⅰ～Ⅱ
マテリアル・ バイオ工学コース	分析化学実験，無機・有機化学実験，物理化学実験，機器分析実験，マテリアル工学実験Ⅰ～Ⅱ，バイオ工学実験Ⅰ～Ⅱ
環境都市・ 建築デザインコース	建築基礎製図Ⅰ，建築基礎製図Ⅱ，CAD，建設工学実験，環境都市工学実験，RC構造設計製図，鋼構造設計製図，建築デザイン製図Ⅰ，建築デザイン製図Ⅱ

（平成27～29年度入学者）

機械システム デザインコース	機械設計製図Ⅰ～Ⅲ，創造設計製図，3次元設計製図，工作実習Ⅰ～Ⅱ，創造工作実習，産業システム工学セミナー，機械・エネルギーシステム履修コース実験Ⅰ～Ⅱ，知能機械システム履修コース実験Ⅰ～Ⅱ
電気情報工学コース	創成実験，実験実習Ⅰ～Ⅲ，電気電子システム実験Ⅰ～Ⅱ，知能情報システム実験Ⅰ～Ⅱ
マテリアル・ バイオ工学コース	分析化学実験，無機・有機化学実験，物理化学実験，機器分析実験，マテリアル工学実験Ⅰ～Ⅱ，バイオ工学実験Ⅰ～Ⅱ
環境都市・ 建築デザインコース	建築基礎製図Ⅰ，建築基礎製図Ⅱ，CAD，建設工学実験，環境都市工学実験，RC構造設計製図，鋼構造設計製図，建築デザイン製図Ⅰ，建築デザイン製図Ⅱ

（平成26年度以前入学者）

機 械 工 学 科	機械設計製図Ⅰ～Ⅲ，工作実習Ⅰ～Ⅱ，創造工作実習，創造設計製図，工学実験Ⅰ～Ⅱ，工学セミナー，3次元設計製図
電 気 情 報 工 学 科	創成実験，実験実習Ⅰ～Ⅲ，電気電子工学実験Ⅰ～Ⅱ，情報工学実験Ⅰ～Ⅱ
物 質 工 学 科	分析化学実験，無機・有機化学実験，物理化学実験，物質工学実験Ⅰ～Ⅱ，生物工学実験Ⅰ～Ⅱ
建 設 環 境 工 学 科	建築基礎製図Ⅰ，建築基礎製図Ⅱ，CAAD，建築デザイン製図，建設環境工学実験Ⅰ～Ⅲ，鋼構造設計製図，RC構造設計製図

別表4（第13条関係）（注）5年課程修了要件に定めている全ての要件を満たしていない場合は、5学年の課程修了を認めない。

機械システムデザインコース

（平成28年度以降入学者）

必修 選択の別	授業科目名 (必得科目名)	学修 単位	単位数	学 年 別 配 当					5年課程 修了要件	
				1年	2年	3年	4年	5年		
必修 科目	両履修 コース 共通	応用数学 I	○	1				1		4単位中 2単位 以上修得
		応用数学 II	○	1				1		
		応用数学 III		1				1		
		応用数学 IV		1				1		
		応用物理 I A	○	1			1			8単位中 6単位 以上修得
		応用物理 I B	○	1			1			
		材料力学 I A		1			1			
		材料力学 I B	○	1			1			
		材料力学 II		2				2		
		機械力学 A		1					1	
		機械力学 B	○	1					1	4単位中 3単位 以上修得
		水力学 A		1				1		
		水力学 B	○	1				1		
熱力学 A		1				1				
熱力学 B	○	1				1				

設定単位16単位 必得条件11単位

電気情報工学コース

（平成28年度以降入学者）

必修 選択の別	授業科目名 (必得科目名)	学修 単位	単位数	学 年 別 配 当					5年課程 修了要件	
				1年	2年	3年	4年	5年		
必修 科目	両履修 コース 共通	応用数学 I	○	1				1		8単位中 5単位 以上修得
		応用数学 II	○	1				1		
		応用数学 III		1				1		
		応用数学 IV		1				1		
		応用物理 I A	○	1			1			
		応用物理 I B	○	1			1			12単位中 9単位 以上修得
		応用物理 II	○	1				1		
		応用物理 V	○	1				1		
		電磁気学 I		1			1			
		電磁気学 II	○	1				1		
		電磁気学 III		1				1		
		電気回路 I A		1			1			
		電気回路 I B	○	1			1			
		電気回路 II		1				1		
		電子工学 I A		1			1			
		電子工学 I B	○	1			1			
		電子工学 II		1				1		
デジタル回路 I A		1			1					
デジタル回路 I B	○	1			1					
電子回路設計 I		1				1				

設定単位20単位 必得条件14単位

マテリアル・バイオ工学コース

(平成30年度以降入学者)

必修 選択 の別	授 業 科 目 名 (必得科目名)	学修 単位	単位数	学 年 別 配 当					5年課程 修了要件
				1年	2年	3年	4年	5年	
必修 科目 両履修 コース 共通	無機化学Ⅱ		1			1			4単位中 3単位 以上修得
	有機化学Ⅲ		1			1			
	分析化学Ⅱ		1			1			
	化学工学A		1			1			7単位中 4単位 以上修得
	応用数学Ⅰ	○	1				1		
	応用数学Ⅱ	○	1				1		
	応用数学Ⅲ		1				1		
	応用物理ⅠA	○	1			1			
	応用物理ⅠB	○	1			1			
	応用物理Ⅲ	○	1				1		7単位中 5単位 以上修得
	応用物理Ⅴ	○	1				1		
	物理化学ⅡA		1				1		
	物理化学ⅡB		1				1		
	機器分析		1				1		
	生物化学Ⅱ		1				1		
	発酵工学		1				1		6単位中 5単位 以上修得
	材料組織学Ⅱ		1				1		
	材料強度学	○	1				1		
高分子化学A	○	1					1		
高分子化学B		1					1		
量子化学		1					1		
反応工学A	○	1					1	6単位中 5単位 以上修得	
反応工学B		1					1		
応用無機化学	○	1					1		

設定単位24単位 必得条件17単位

マテリアル・バイオ工学コース

(平成28・29年度入学者)

必修 選択 の別	授 業 科 目 名 (必得科目名)	学修 単位	単位数	学 年 別 配 当					5年課程 修了要件
				1年	2年	3年	4年	5年	
必修 科目 両履修 コース 共通	無機化学Ⅱ		1			1			4単位中 3単位 以上修得
	有機化学Ⅲ		1			1			
	分析化学Ⅱ		1			1			
	化学工学A		1			1			3単位中 2単位 以上修得
	応用数学Ⅰ	○	1				1		
	応用数学Ⅱ	○	1				1		
	応用数学Ⅲ		1				1		
	物理化学ⅡA		1				1		
	物理化学ⅡB		1				1		
	機器分析		1				1		7単位中 5単位 以上修得
	生物化学Ⅱ		1				1		
	発酵工学		1				1		
	材料組織学Ⅱ		1				1		
	材料強度学	○	1				1		
	高分子化学A	○	1					1	
	高分子化学B		1					1	6単位中 5単位 以上修得
	量子化学		1					1	
	反応工学A	○	1					1	
反応工学B		1					1		
応用無機化学	○	1					1		

設定単位20単位 必得条件15単位

必修 選択 の別	授業科目名 (必得科目名)	学修 単位	単位数	学 年 別 配 当					5年課程 修了要件
				1年	2年	3年	4年	5年	
必 修 科 目	応 用 数 学 I	○	1				1		7 単位中 4 単位 以上習得
	応 用 数 学 II	○	1				1		
	応 用 数 学 III		1				1		
	応 用 物 理 I A	○	1			1			
	応 用 物 理 I B	○	1			1			
	応 用 物 理 III	○	1				1		
	応 用 物 理 IV	○	1				1		6 単位中 6 単位習得
	測 量 学 ・ 同 実 習 I		3	3					
	測 量 学 ・ 同 実 習 II		3		3				
	建 設 材 料 学 I	○	1			1			14 単位中 8 単位 以上習得
	建 設 材 料 学 II	○	1			1			
	構 造 力 学 I		2		2				
	構 造 力 学 II		2			2			
	地 盤 工 学 I		2			2			
水 理 学 I		2			2				
水 環 境 工 学	○	2			2				
建 築 計 画 I	○	2			2				

設定単位27単位 必得条件18単位